

(2) 大分県の林業の現況について

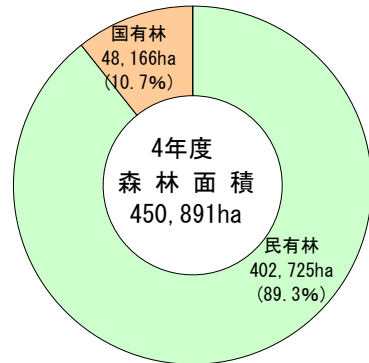
大分県の森林面積は約45万1千haで県土の71%を占めており、この豊かな森林資源は、木材の生産をはじめ、しいたけ等の特用林産物の生産など、林業・木材産業の発展と山村の振興に寄与している。また、森林は、水源のかん養や県土の保全、保健休養の場の提供、地球温暖化の防止などの公益的機能を発揮しており、安全で快適な県民生活の確保に大きな役割を果たしている。

① 森林資源の現況

ア 森林面積

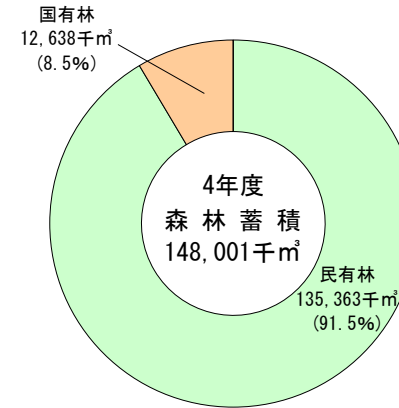
- ・ 地域森林計画対象民有林の面積は40万3千haであり、森林面積の89.3%を占めている。

	大分県	全国
国土面積(千ha)	634	37,798
森林面積(千ha)	451	25,025
森林率(%)	71	66



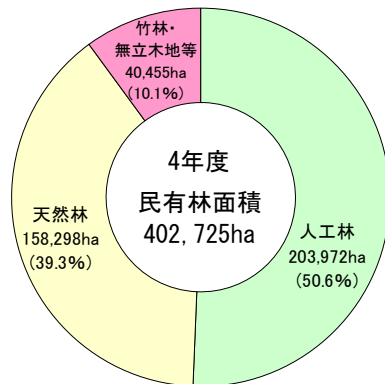
イ 森林蓄積

- ・ 森林蓄積は1億5千万 m^3 であり、うち民有林は1億4千万 m^3 と91.5%を占めている。



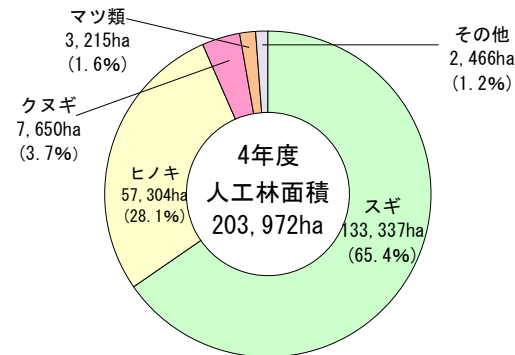
ウ 民有林の林種別面積

- ・ 民有林面積40万3千haのうち、人工林は20万4千haで50.6%を占めている。



エ 人工林の樹種別面積

- ・ 人工林の樹種別面積では、スギが65.4%、ヒノキが28.1%を占めている。



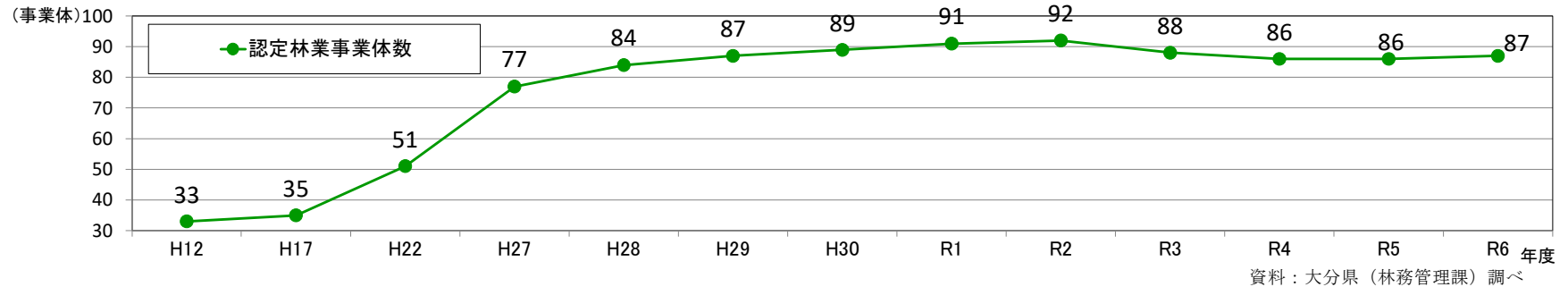
資料：(森林面積) 林野庁「森林資源の現況 令和4年3月31日現在」、(国土面積) 国土地理院「令和8年 全国都道府県市区町村別面積調」

② 担い手の状況

ア 認定林業事業体数

認定林業事業体数は、令和6年度は前年から1事業体増加し、87事業体となっている。

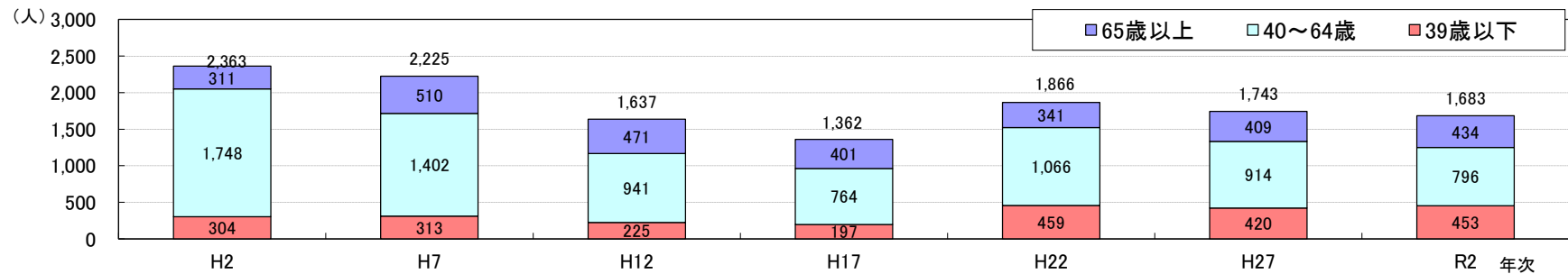
《認定林業事業体数の推移》



イ 林業就業者数

令和2年の林業就業者数は、1,683名となっており、65歳未満の就業者は就業者全体の74%を占めている。

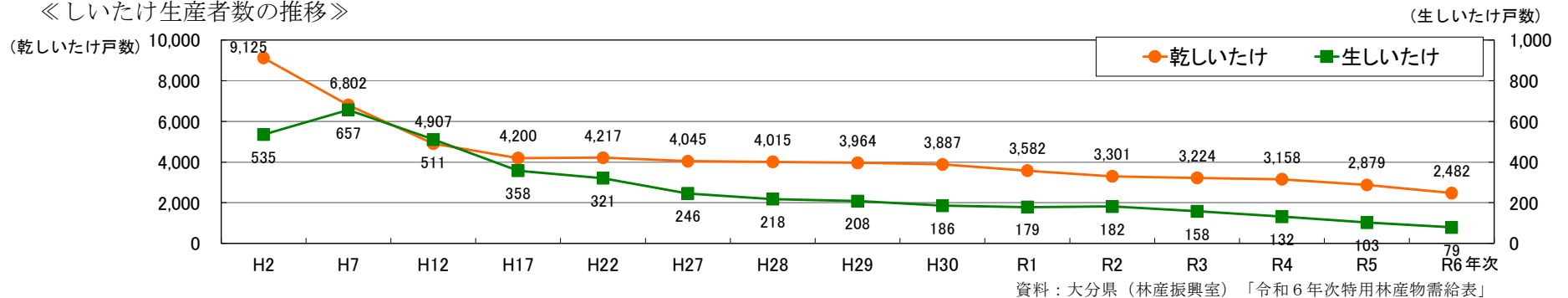
《林業就業者数の推移》



ウ しいたけ生産者数

令和6年のしいたけ生産者数は、乾しいたけが2,482戸、生しいたけが79戸となっており、乾しいたけ・生しいたけともに前年に比べて減少している。

《しいたけ生産者数の推移》



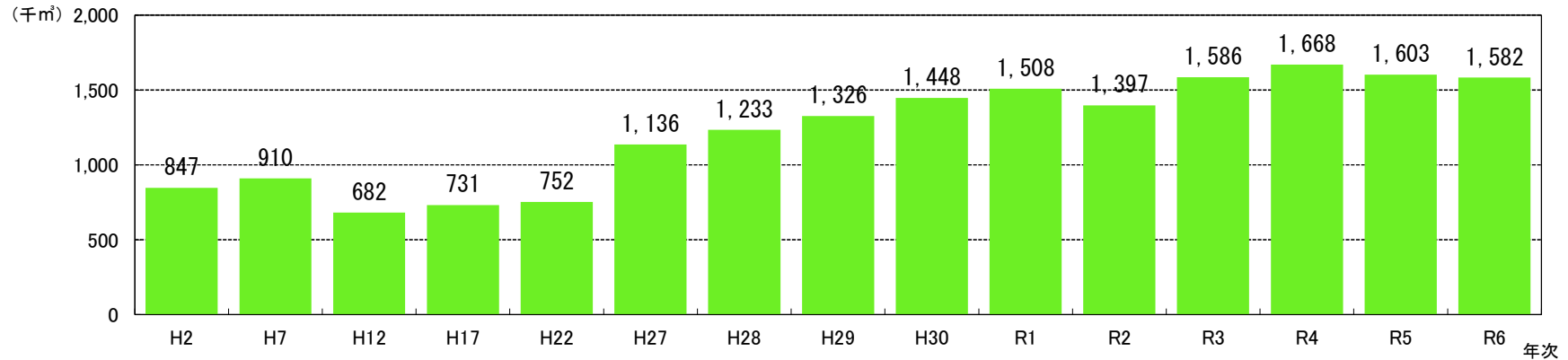
③ 林業関係の生産量及び価格

ア 木材の生産

a 木材生産量

住宅着工戸数の減少などの影響により、令和6年の木材生産量は158万2千 m^3 となり、前年に比べ2万 m^3 減少している。

《木材生産量の推移》

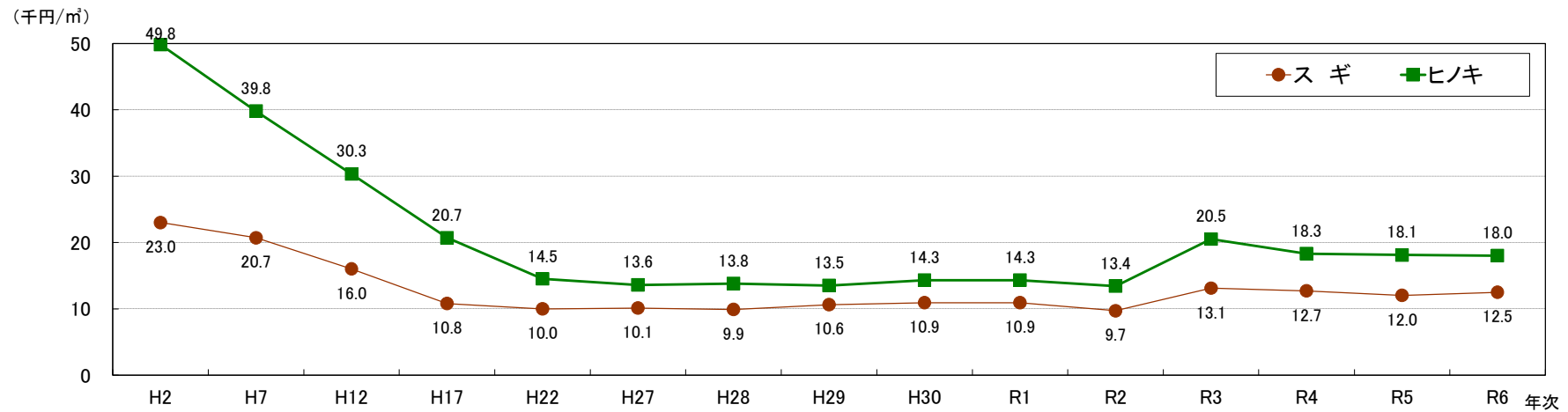


資料：農林水産省「令和6年木材統計」、大分県（林産振興室）調べ

b 丸太価格

令和6年の丸太の平均価格は、スギが12,462円/ m^3 、ヒノキが17,951円/ m^3 となっている。

《丸太価格の推移》



※H17まではスギ、ヒノキ丸太のうち長さ4m、直径14~22cmの平均価格、H22以降は丸太の全平均価格

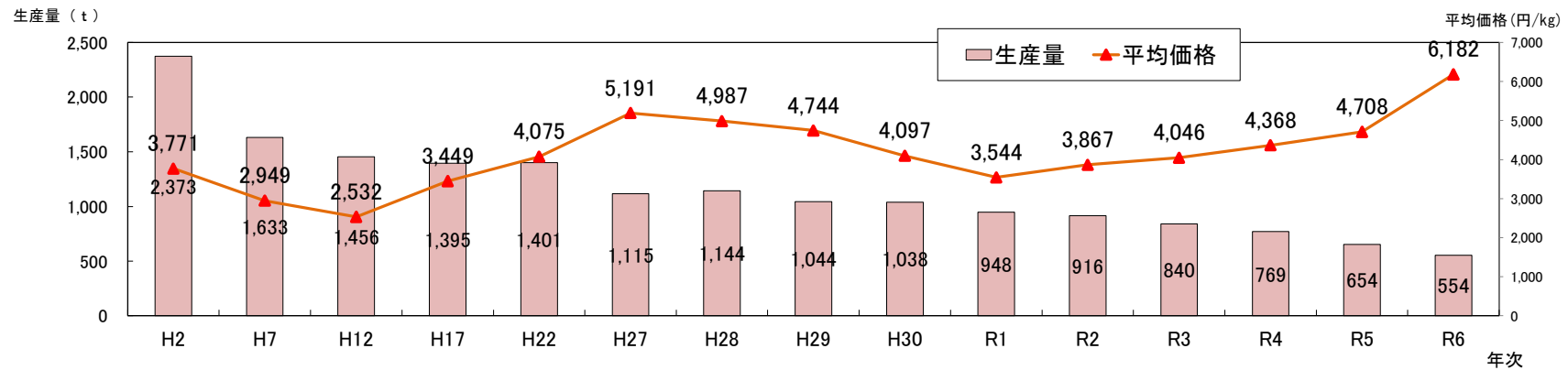
資料：農林水産省「令和6年木材需給報告書」、大分県（林産振興室）調べ

イ 特用林産物の生産

a 乾しいたけの生産量と価格

令和6年の乾しいたけ生産量は、前年に比べ100t減少し554tとなり、平均価格は6,182円/kgで、前年に比べ1,474円値上がりしている。

《乾しいたけ生産量・平均価格の推移》



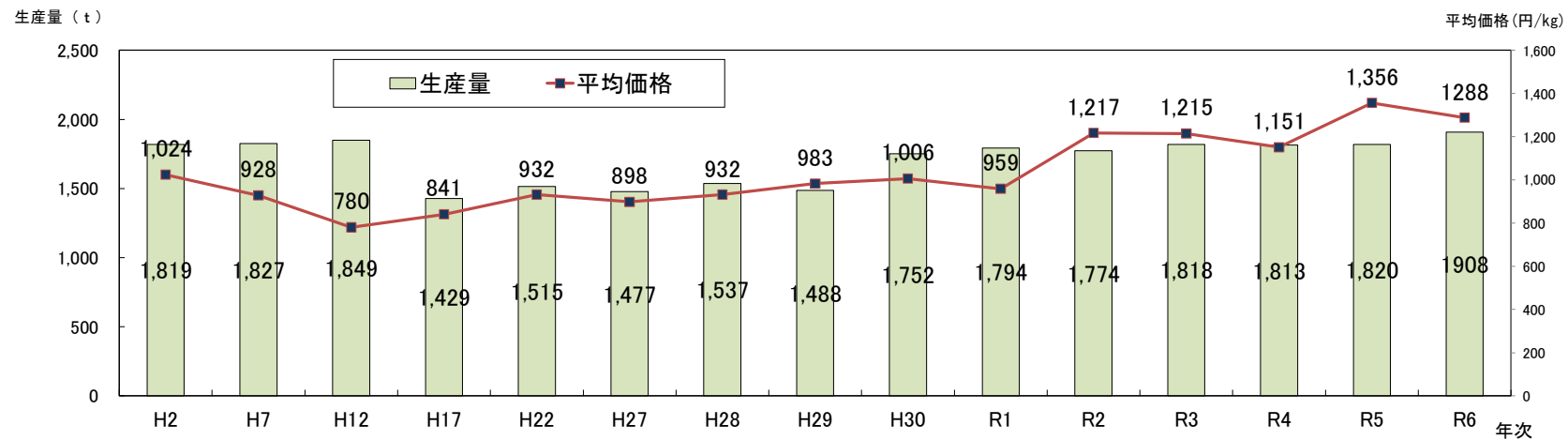
資料：(生産量) 大分県(林産振興室)「令和6年次特用林産物需給表」
(平均価格) 大分県椎茸農業協同組合

b 生しいたけの生産量と価格

令和6年の生しいたけ生産量は、前年に比べ88t増加し1,908tとなっている。

平均価格は前年に比べ68円値下がりし、1,288円/kgとなっている。

《生しいたけ生産量・平均価格の推移》

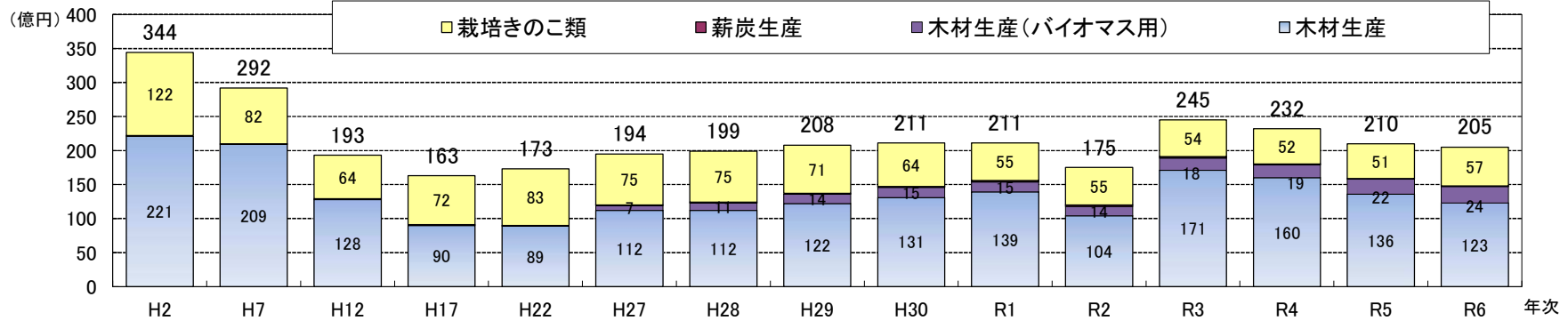


資料：(生産量) 大分県(林産振興室)「令和6年次特用林産物需給表」
(平均価格) 大分県農業協同組合

④ 林業産出額

栽培きのこ類の産出額は増加したものの、木材生産の産出額が減少したことから、令和6年の林業産出額は205億円と前年から5億円減少している。

《林業産出額の推移》



資料：農林水産省「令和6年林業産出額」、大分県（林産振興室）調べ
※項目毎に四捨五入をしているため合計が一致しない場合がある

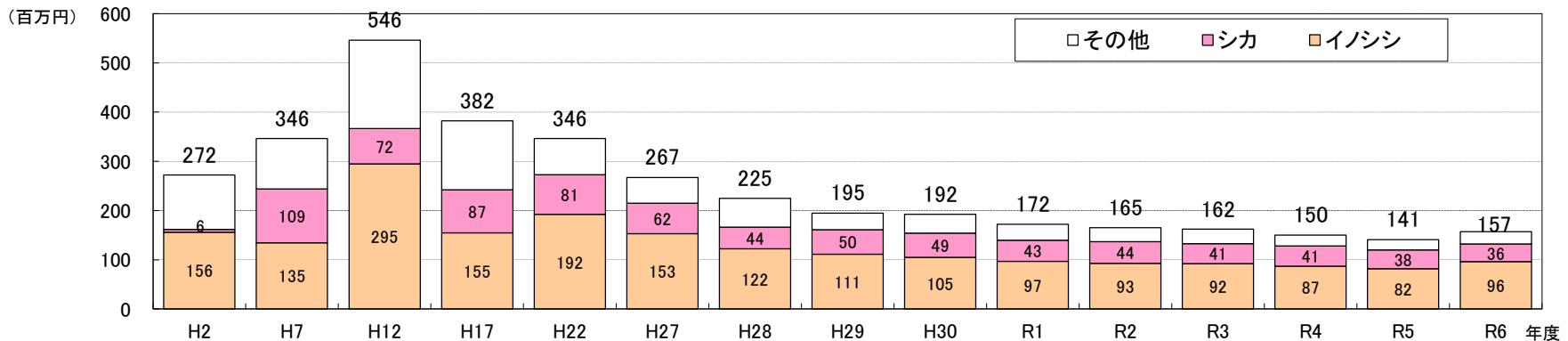
(参考) 主伐生産性 (m³/人・日) の推移

R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度(目標)
10.4	10.7	10.8	10.7	12.0

⑤ 鳥獣による農林産物の被害状況（鳥獣被害額の推移）

令和6年度の被害額は、イノシシによる農作物被害が増加したことで、前年に比べ16百万円増加し、157百万円となっている。内訳では、イノシシ、シカによる被害額が大きく、被害全体の84%を占めている。

《鳥獣被害額の推移》



資料：大分県（森との共生推進室）調べ